



「国際女性デー」に向けて～女性の健康と政治参加

公益財団法人プランインターナショナルジャパン理事長 池上清子さん

3月8日は国連が定めた「国際女性デー」です。この機会にぜひ覚えておきたいのが、2030年までに世界的な課題を解決するために国際社会が約束したSDGs(持続可能な開発目標)の目標5「ジェンダー平等を実現しよう」。あらゆる場所で女性と女兒に対する差別に終止符を打つことを狙っています。

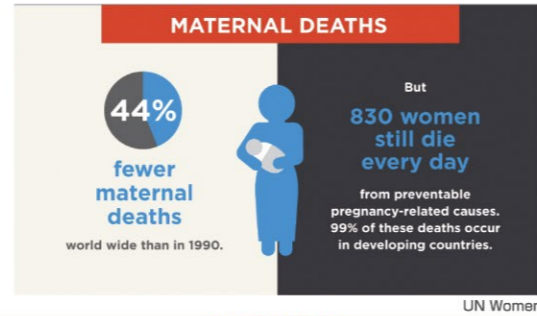
女性の健康は、まだ、多くの課題が残されています。アフガニスタンのような途上国では12-13歳で結婚する児童婚が減っていません。産科瘻孔(ろうこう)※になり、命をとりとめたとしても胎児が亡くなり、瘻孔から漏れる臭いが理由で社会的生命をなくす若い女性もいます。日本でも性に関する健康の状況は課題が山積しています。十代の若い女性が意図しない妊娠により人生を狂わすこともあります。

こうした女性の健康は、単に医療体制が拡充すれば改善されるものではなく、社会全体のインフラや教育レベル、経済的な状況や社会的な慣習にも大きく影響を受けます。全体的なアプローチが必要なのです。

こうした点からも女性の政治参画が重要です。女性の参政権が確立してから100年を祝う英国では、今年から2028年まで、5050キャンペーンを展開して、今後10年かけて女性の議席数を男女同数になるまで引き上げる計画です。参加型の取組として、イベントやキャンペーンを通じた政策提言活動(政治参加のための環境づくり)を行い、多くの女性たちに選挙に立候補するよう働きかけたり、その方法を伝授したりするそうです。女性の立候補を促進・支援する活動は日本にもありましたが、最近、下火になっているのではないかと危惧します。

SDGsの目標5を達成するという新たな機会に、“社会課題はグローバルに考え、身近なところから行動する”という基本に戻って、政治参画を考えてみませんか。

※産科瘻孔(ろうこう)：閉塞性分娩などに対して適切な医療処置が行われない場合、胎児の頭が母体の骨盤を長時間圧迫することにより、母体の膀胱・膈・直腸などの組織が壊死し、瘻孔が形成される障害。



妊産婦の死亡

1990年と比べ世界における妊産婦の死亡率は44%減少

しかしいまだに毎日830人の女性が予防可能な妊娠関連の病気が原因で亡くなっている。こうした妊産婦の死亡の99%は開発途上国で起こっている



「人間の安全保障とジェンダー」

JICAシニア・ジェンダー・アドバイザー 田中由美子さん

東西冷戦後、世界は「国家の安全保障」から「人間の安全保障」という考え方を重視するようになりました。1990年代になると、国家間の戦争や紛争だけではなく、国境を越えたテロリズム、感染症、気候変動や災害、経済・金融危機などが国家に対する「多様な脅威」とみなされるようになりました。さらに、国家の機能不全や解体、地域紛争の増加などにより、難民・国内避難民が急増し、伝統的な国家の安全保障という概念ではとらえきれない「人間の安全保障」に関心が向けられるようになったのです。

「人間の安全保障」というのは、まさに女性や多様な人々の安全保障です。それは、暴力や性的搾取、国境を越えた人身取引などの「恐怖からの自由」、貧困、飢餓、気候変動や災害の被害などによる「欠乏からの自由」、さらに労働、教育、保健・医療、人権、社会保障などに関わる、人々が「尊厳を持って生きる自由」を尊重する考え方です。

その考え方は、「だれも取り残さない」という言葉に象徴されるように、2015年の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に統合されたと言えます。日本においても2030年までにジェンダー平等を達成し、女性や多様な人々の安全、生活、人権の保障などの改善が求められています。しかしながら、日本では女性に対するハラスメントや暴力への対応が不十分です。災害からの復興、人間らしい仕事や生活、社会保障制度や税制などにおいてもジェンダー不平等が根深く残っています。これらの問題の解決のためには、女性も男性も固執した役割意識や偏見を捨て、多様な価値観や文化を受け入れていく姿勢が必要です。だれもが生きやすい未来社会を作っていくことに一緒にチャレンジしましょう。

Topics

持続可能な開発目標(SDGs)について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



(国際連合広報センターホームページより)

目標

SDGsの17の目標の5つ目として、「ジェンダー平等を実現しよう」があります。

5

ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う。



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

[出典：外務省ホームページ]
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

LIBRARY

センターでは、男女共同参画に関する本やDVDを多数揃えています。ホームページでも検索できますので、ぜひご利用ください。

未来を変える目標 SDGsアイデアブック

著者/Think the Earth

子どもから大人まで、SDGs(持続可能な開発目標)についてわかりやすく、楽しく学べる本です!マンガなどを使い、17個の目標の説明、優れたアイデアに焦点を当てた世界の活動34事例を紹介。14名の専門家のコラムも掲載し、学びの心を刺激する書籍です。



ジェンダーってなんのこと?

国際化の時代に生きるためのQ&A 2

著者/ジュノ・ドーソン

「あなただったら、どう答えますか?」多文化・多民族の共生を探り、人権にかかわる複雑な諸問題に取り組むイギリスで生まれた、児童・青少年のための新しい学習用テキスト・ブックの第2巻。ジェンダーについて、さまざまな体験談を紹介しながら、多角的に学習していきます。

